

磐城日報

発行所 磐城日報社
電話(呼) 〇三三八番
編集 後藤幸夫
印刷 丸山徳平
毎週水曜日休刊 購読料
一ヶ月三十円 一部一円

二才駒のセリ価格

一足飛に安値へ!

馬が一し一番に 経済安定へゴールイン?

馬市場

石城畜産農協主催の二才駒セリ市は去る七日から三日間行われ、た三坂村中寺市場を皮切りに上野野(十日、十一日)黒田(十三日)の順で行はれ更に二十二、三の二日間も補賣、二十四日は小川の各市場で行ふが既に所かれた中寺外三市場の成績を見ると

中寺市場の總出馬は三百三頭で最高四万五千圓、最低五千圓、平均一万六千三百七十七圓、また上野野市場では總出馬が三百三十七頭で最高三万五千圓、最低四千圓、平均一万六千四百八十一圓、黒田市場では總出馬八十頭で最高三万圓、最低七千圓、平キ一萬四千四百三十二圓

となつてゐる、これを昨年同期のセリと比較すると各市場とも一頭平きんに於て實に六千圓の減となつており馬景氣も漸く下火の觀を呈するに至つた右に就て事務主任の佐藤藤七氏は語る

「馬がイン一番に 経済安定へゴールイン?」

市場とも一頭平きんに於て實に六千圓の減となつており馬景氣も漸く下火の觀を呈するに至つた右に就て事務主任の佐藤藤七氏は語る

「馬が一し一番に 経済安定へゴールイン?」

市場とも一頭平きんに於て實に六千圓の減となつており馬景氣も漸く下火の觀を呈するに至つた右に就て事務主任の佐藤藤七氏は語る

「馬が一し一番に 経済安定へゴールイン?」

迷惑は事務所

大勝園取壊し問題

平野復興事務所が事に就て一部から冷嘲無情の目新設三十米道路に關する打もの如く傳へられたは去る十四日縣會議室で開通して茶販賣業大勝が實際に於ては當の鈴木氏が出席して十五日歸郷した

三、園事鈴木義忠氏宅の自招いた問題であつてが出席して十五日歸郷した

間口三間奥行五間のうち風いわば自業自得であり迷惑が同氏は語る

呂場等に當る後方の二間をくを蒙つたのはむしろ最初向上をめざし新しい事業

「自動車文庫」

明年平市に實現!!

縣下公共圖書館運営協議會として自動車文庫を開始する事にした運営に就ては各方面の協力を得て明年早々大々的に圖書を蒐集して自動車に満載したナトコ映寫機も同時携帶の上平市を中心に各町

一人二千七百圓宛

盲ろうあ寄宿舎生徒に給與

過般の民生委員講習會で平逐次三十名増員されるが市の盲ろうあ寄宿舎生にこれら氣の毒な人々にたいして十一月一人當り二千七百圓極力愛の翼をのべようといを給與することに決定したふものである

現在寄宿舎には十七人あり

成績悪い

平市の供米

平市の本年度供米割當は六百九百六十五俵であるがこれに對し昨十四日迄に供出された數はモチ米の三俵を合せて僅かに五十俵で昨年よりも悪い成績にある、原因は天候不良により二毛作の入手並に脱穀調整が甚だしく遅れた結果で一月には會議室で開會追加豫算、議決を附議した後

書畫展覽會を湯本町に設け大家を招いて批評を求めその道の向上をはかる外明年二月平市第三中學校で辯論大會を開催する件を委員一任としさいごに高等學校學區制の問題について活潑な意見がある

五風十雨

物もらいの類が近頃減つたと思つたら今度は押賣りが次から次と見參に及んで留守を預る女小も達に新しい恐怖感をいだかせてゐる。山間の部落や炭礦の長屋では、彼等を締出すため押賣り物もらしいの類お断りして貼紙しておくが、市街地ではそれもできない、とかく押賣りして歩く位の者は人相、ようぼう共に悪く若しいらぬとでも断るならば、彼はたし所に目をむき出して、今にもつかみか、らんとする氣配を示す、それが常なのである。女どものこのわがものも全く無理のない話、物もらいや押賣りは日本再建には絶体無用のしる物、まづ民心安定の爲當局はかれらを断乎取締るべきである

P.T.A.

郡連合評議員會

石城郡P.T.A.連合評議員會は十四日石城地方事務所會議室で開會追加豫算、議決を附議した後

書畫展覽會を湯本町に設け大家を招いて批評を求めその道の向上をはかる外明年二月平市第三中學校で辯論大會を開催する件を委員一任としさいごに高等學校學區制の問題について活潑な意見がある

電線が燃える

拾四日午後八時三拾六分頃平市古鍛冶町通りの五号電柱の引込線が接觸して被覆がもえ上つたが烈風中の電線が燃え、それが常なのである。女どものこのわがものも全く無理のない話、物もらいや押賣りは日本再建には絶体無用のしる物、まづ民心安定の爲當局はかれらを断乎取締るべきである

労災保険の未収 遂に一千萬圓突破

平勞基署差押断行

労働者の災害賠償として補未納及今月五日迄の納入未償する労働者災害補償保険かん了は三百三拾四件滞納が實施されてから滿二ヶ年金額は實に千二百四萬圓の以上を敷え運営方面も軌道多きに達して日全署に押のつてきたが近頃の金融し寄せる失業者へ満足に支難で各會社工場とも保険金拂えぬ現狀である同署ではの支拂いには困窮の一途を之に對し收納未済分整理の迎つている平勞働基準監督ため二十六日より二十八日署の現在迄の調査したところ迄差押を執行することに決るによれば第三期分保険料をいたした

兩側に スズラン燈

三十米道路の美観 市營住宅

平市では三十米道路の美観を成をまじ同道路の緑地帯と並んでスズラン燈を兩側に建設することに決ていたが、來年度に市營住宅約百戸を建設することに決定し、今年四月早々事業に着手する道路はその美観によつて平のしん名所の一つとなるが敷地は城山その他敷カ所を豫定して

平市大工町の踏切番位い香氣であれば人間も目出度といふものだ、朝のラッピニ時であらうが西風のビニール吹く寒い夕方であらうが、そんなことは、他人の事でお構へな

郷土文藝誌創刊
草野心平氏等を中心として芳賀他郷土文藝誌等が同人となつて出版される發行所は平市田町五七菅田甫氏宅

社告
本紙の休刊日は毎週水曜日で日曜は發行致しておりまます故御愛顧下さいます様切に御願致します
尚紙面の改善につきまして御氣付の点が御座いましたら恐れ入りますが編集係迄御知らせの程を重ねて御願申し上げます
十二月十五日
磐城日報社

塩は一月も自由販賣...?
塩の自由販賣は十二月一いであるが政府は引續き一月もこれを行政方針なので塩に關する限り先づ心配はなくなつて來た
をしてゐる本當に香氣な話だ、十回も待つうちそ

祝 創刊

買よい
くすりや

堀藥局

平市二丁目
電三二六

金成醫院

平市田町
電話八二六番

とらや旅館

平市田町三
電六四八

伊達屋旅館

平市白銀町

水戸屋旅館

平市白銀町三八
電話三五六

新星藥品工業株式會社

代表取締役
長 駒木根忠敬
平市大町二八
電話 三六六八
三五三

カメラ 修理 現像 材料 技術の美鈴

平市田町四七
平驛大通り

小野義一

縣會議員
石城郡小名濱町横町
電話 六番